

豊中市では、赤ちゃんから10代の若者（YA世代）まですべての子どもがいつでもどこでも読書を楽しめるような環境づくりに取り組んでいます。ここではそのなかの一部をご紹介します。



4か月児健診でのブックスタート事業「えほんはじめまして」では、絵本をとおして赤ちゃんにあたかなひとときを過ごしていただくことを願い、絵本をプレゼントしています。



「子どもと本をつなぐボランティア講座」には、地域で読み聞かせの活動を希望する熱心な市民が集まります。運営には地域で活動している読み聞かせボランティアも関わっています。



児童発達支援センターや支援学校には動く図書館が巡回して本の貸出を行っています。



動く図書館 とよ1ぶっくる

図書館で開催される「すくすくあかちゃんタイム」では、赤ちゃん向けお話し会のあとに、保健師さんによる健康相談などが行われています。



「おかまち・おやこでにほんご」「しょうない・おやこでにほんご」「せんり・おやこでにほんご」では外国人親子の居場所づくりをしています。国際交流センターには多言語の絵本があります。



高校生や大学生も、子どもの読書に関するボランティア活動をしています。図書館から足が遠のきがちな10代の若者（YA世代）向けに資料コーナーを設けている図書館もあります。



豊中市立図書館では、特別なニーズのある子どもたちに必要な本や情報を手渡せるように、各所で展示に取り組んでいます。



地域子育て支援センター、保育所（園）・こども園・幼稚園などでも絵本コーナーを設けたり、園（所）庭開放の時に読み聞かせを行ったりしています。



「ようこそ図書館へ！」として、毎年、小学校3年生が市立図書館の見学に訪れます。



児童館の図書室で、本の紹介をしているコーナーです。目にとめてもらって、手にとって、読んでもらえるように。



豊中市ではすべての小学校と中学校に学校司書が配置されています。学校図書館の資料を使った学習や、子どもの関心に合わせた本の紹介、読み聞かせなどが行われています。

豊中市では平成17年3月「豊中市子ども読書活動推進計画」（以下「推進計画」という）を策定しました。推進計画では、市内のすべての子どもが本と出会い、読書を楽しむことができるよう、読書環境を整えるとともに、子どもの読書を支える活動を推進することが重要であるとしています。この推進計画をもとに、市や市民が協力・連携し、豊かな子どもの読書環境の整備をめざしています。

「とよなか子ども読書マップ」は子ども読書活動推進のために、豊中市立図書館が発行・配布するものです。

このマップや取り組みに関するお問い合わせは、岡町図書館まで
電話番号 06-6843-4553 FAX 06-6841-3493

豊中市立図書館のウェブサイト
<http://www.lib.toyonaka.osaka.jp/>
<http://www.lib.toyonaka.osaka.jp/i/>（携帯用）

豊中市のウェブサイト
<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>



おはなし会に行こう



平成20年（2008年）3月発行
平成30年（2018年）11月改訂

